



宮崎県から得られた日向灘初記録のフエフキダイ科魚類オオフエフキ

渋谷駿太¹・三木涼平²・本村浩之³

Author & Article Info

¹ 鹿児島大学大学院農林水産学研究所（鹿児島市）
k1542940@kadai.jp

² 宮崎県南那珂農林振興局（日南市）

³ 鹿児島大学総合研究博物館（鹿児島市）
motomura@kaum.kagoshima-u.ac.jp (corresponding author)

Received 23 April 2021
Revised 25 April 2021
Accepted 26 April 2021
Published 27 April 2021
DOI 10.34583/ichthy.7.0_66

Shunta Shibuya, Ryohei Miki and Hiroyuki Motomura. 2021. First record of *Lethrinus microdon* (Perciformes: Lethrinidae) from the Hyuga-nada, eastern Kyushu, Japan. Ichthy, Natural History of Fishes of Japan, 7: 66–69.

Abstract

A single specimen (330.0 mm standard length) of *Lethrinus microdon* Valenciennes, 1830 (Perciformes: Lethrinidae) was collected from off Kushima City, southern Miyazaki Prefecture, eastern Kyushu, Japan. In Japanese waters, *L. microdon* has previously been recorded only from the southwestern Satsuma Peninsula, the Osumi Islands, and the southern Ryukyu Islands. Thus, the Miyazaki specimen, herein described in detail, represents the first record of the species from the Hyuga-nada.

フエフキダイ科フエフキダイ属 *Lethrinus* は背鰭、胸鰭、および臀鰭軟条数がそれぞれ通常 9, 13, および 8 であることや頬部が無鱗であることなどによって特徴づけられ (Carpenter and Allen, 1989; Carpenter, 2001), 日本から 19 種が知られている (島田, 2013; 本村, 2020). このうちオオフエフキ *Lethrinus microdon* Valenciennes, 1830 は主に沖縄諸島以南の琉球列島に分布し (島田, 2013), 2017 年に発行された環境省版海洋魚類レッドリストにおいて、アマクチビ *Lethrinus erythracanthus* Valenciennes, 1830, アマミフエフキ *Lethrinus miniatus* (Forster, 1801), およびヤエヤマフエフキ *Lethrinus reticulatus* Valenciennes, 1830 のフエフキダイ属魚類 3 種とともに準絶滅危惧種に指定されている (環境省, 2017).

2020 年 10 月に宮崎県串間市沿岸からオオフエフキに同定される魚類 1 個体 (標準体長 330.0 mm) が採集された。本標本は本種の宮崎県からの初記録ならびに日向灘からの

初めての記録となるためここに報告する。

材料と方法

標本の計数・計測方法は Carpenter and Allen (1989) にしたがった。側線上方横列鱗数は背鰭基底の小鱗を含め、背鰭第 5 棘直下から側線鱗のひとつ手前までの 1 横列の鱗数を計数した。標準体長 (standard length) は体長または SL と表記した。体各部の計測はノギスを用いて 0.1 mm 単位まで行い、計測値は体長に対する百分率で示した。生鮮時の色彩の記載は、固定前に撮影されたカラー写真 (Fig. 1) に基づく。標本の作製、登録、撮影、および固定方法は本村 (2009) に準拠した。本報告に用いた標本は、鹿児島大学総合研究博物館 (KAUM) に保管されており、上記の生鮮時の写真は同館のデータベースに登録されている。本研究における日向灘の範囲については Iwatsuki et al. (2017) にしたがった。

Lethrinus microdon Valenciennes, 1830

オオフエフキ

(Fig. 1; Table 1)

標本 KAUM-I. 147804, 体長 330.0 mm, 宮崎県串間市沿岸 (31°22'43"N, 131°18'30"E から 31°22'12"N, 131°18'41"E の間), 水深 10–20 m, 2020 年 10 月 19 日, 定置網, 河野忠重・河野誠也。

記載 計数形質と体各部の SL に占める割合を Table 1 に示した。体は前後方向に長い楕円形でやや側扁し、背鰭第 6 棘基部付近で最大となる。体背縁は吻端から背鰭第 5 棘基部にかけて上昇し、そこから尾柄前部にかけて下降する。体腹縁は下顎先端から肛門にかけて緩やかに下降し、そこから尾柄前部にかけて緩やかに上昇する。上顎の先端は下顎の先端よりも僅かに前方に突出する。鼻孔は 2 対で僅かに離れ、両鼻孔は眼の前方に位置する。前鼻孔は正円に近い円形で皮弁を有する。後鼻孔は前後方向に長い楕円形。眼と瞳孔は正円形。背鰭起部は腹鰭起部より僅かに前方、背鰭基底後端は臀鰭基底後端直上にそれぞれ位置する。



Fig. 1. Fresh specimen of *Lethrinus microdon* (KAUM-I. 147804, 330.0 mm SL, off Kushima City, southern Miyazaki Prefecture, Hyuga-nada, Japan).

胸鰭基底上端は鰓蓋後端よりも僅かに後方，胸鰭基底下端は背鰭起部直下よりも前方にそれぞれ位置する。胸鰭後端はやや尖り，背鰭第9棘基部直下に位置する。たまたんだ腹鰭の後端は肛門に達する。臀鰭起部は背鰭第10棘基部直下の後方に位置する。尾鰭は二叉型を呈し，後縁は僅かに湾入する。背鰭，臀鰭，腹鰭，および胸鰭基底内側は無鱗。

色彩 生鮮時の色彩 (Fig. 1) 一体の地色は淡い茶色で体腹面は白色を呈する。頭部と体側には暗色斑が不規則に散在する。吻部に眼から放射状に伸びる3本の暗色線がある。背鰭と臀鰭は赤色で，緑色斑が不規則に散在する。胸鰭は淡い橙色を，腹鰭と尾鰭は赤色を呈する。

分布 *Lethrinus microdon* はアフリカ東岸からパプアニューギニアにかけてのインド・西太平洋から記録されている (Carpenter and Allen, 1989; Carpenter, 2001; Allen and Erdmann, 2012)。日本国内では鹿児島県南さつま市 (九州南西部)，大隅諸島，および沖縄諸島以南の琉球列島からのみ記録されていたが (島田, 2013; 萬代ほか, 2017; 和田ほか, 2019)，本研究により日向灘 (宮崎県串間市) における分布も確認された。

備考 日向灘産標本は，背鰭第5棘直下における側線上方横列鱗数が5である，唇を含めない吻長が頬部高の1.3倍である，頭長 (111.4 mm) が体高 (111.9 mm) と同程度である，頭部背縁が直線的である，および吻部に眼から放射状にのびる3本の暗色線をもつことなどの特徴が，Carpenter and Allen (1989)，Carpenter (2001) および島田 (2013) の報告した *L. microdon* の標徴とよく一致したため，本種に同定された。

島田 (2013) は日本におけるオオフエフキの分布域が

沖縄諸島以南の琉球列島であることを示した。その後，萬代ほか (2017) が大隅諸島近海から，和田ほか (2019) が鹿児島県南さつま市から本種 (各1個体) を報告したことによって，オオフエフキの沖縄諸島以北における分布が確認された。

これまで宮崎県を含む日向灘からはイソフエフキ *Lethrinus atkinsoni* Seale, 1910，イトフエフキ *Lethrinus genivittatus* Valenciennes, 1830，フエフキダイ *Lethrinus haematopterus* Temminck and Schlegel, 1844，マトフエフキ *Lethrinus harak* (Forsskål, 1775)，ハマフエフキ *Lethrinus nebulosus* (Forsskål, 1775)，キツネフエフキ *Lethrinus olivaceus* Valenciennes, 1830，ハナフエフキ *Lethrinus ornatus* Valenciennes, 1830，およびホオアカクチビ *Lethrinus rubrioperculatus* Sato, 1978 のフエフキダイ属魚類8種が記録されていた (Iwatsuki et al., 2017; 村瀬ほか, 2019)。和田ほか (2019) の報告以降，九州におけるオオフエフキの報告は確認されていないため，本研究での調査標本は本種の宮崎県からの初記録であり，日向灘における初めての記録となる。

太田ほか (2008) は八重山海域における主要沿岸性魚類について体長・体重測定調査をおこない，2005年3月から2007年6月にかけて準絶滅危惧種であるアマクチビ (40個体) とヤエヤマフエフキ (29個体) が漁獲されたことを報告したが，本報告にオオフエフキは含まれていない。日本における本種の分布域を考慮すると，オオフエフキが準絶滅危惧種に指定されるフエフキダイ属魚類のなかでも日本近海における個体数が少ない種である可能性が考えられる。

謝 辞

本報告を取りまとめるにあたり、鹿児島大学総合研究博物館ボランティアの皆さまと同博物館魚類分類学研究室の皆さまには標本作成にご協力頂いた。標本の採集に際しては、串間市東漁業協同組合の河野誠也氏、ホテル丸万の松尾禎久氏、および南郷漁業協同組合の皆さまにご協力頂いた。以上の方々に謹んで感謝の意を表す。本研究は鹿児島大学総合研究博物館の「鹿児島県産魚類の多様性調査プロジェクト」の一環として行われた。本研究の一部は公益財団法人日本海科学振興財団「海の学びミュージアムサポート」、JSPS 科研費 (20H03311・21H03651)、JSPS 研究拠点形成事業—B アジア・アフリカ学術基盤形成型 (CREPSUM JPJSCCB20200009)、および文部科学省機能強化費「世界自然遺産候補地・奄美群島におけるグローバル教育研究拠点形成」の援助を受けた。

引用文献

Allen, G. R. and M. V. Erdmann. 2012. Reef fishes of the East Indies. Vols. 1–3. Tropical Reef Research, Perth. xiii + 1292 pp.
 萬代あゆみ・畑 晴陵・本村浩之. 2017. 鹿児島県から得られたフエキダイ科魚類オオフエキ. *Nature of Kagoshima*, 43: 165–

168. (https://www.museum.kagoshima-u.ac.jp/staff/motomura/2017_05_Ofufeki.pdf)
 Carpenter, K. E. 2001. Lethrinidae, emperors (emperor snappers), pp. 3004–3050. In Carpenter, K. E. and V. H. Niem (eds.) *FAO species identification guide for fishery purposes. The living marine resources of the western central Pacific. Vol. 5. Bony fishes part 3 (Menidae to Pomacentridae)* FAO, Rome.
 Carpenter, K. E. and G. R. Allen. 1989. *FAO species catalogue. Vol. 9. Emperor fishes and large-eye breams of the world (family Lethrinidae). An annotated and illustrated catalogue of lethrinid species known to date.* FAO Fisheries Synopsis, No. 125: i–v + 1–118, pls. 1–8.
 Iwatsuki, Y., H. Nagino, F. Tanaka, H. Wada, K. Tanahara, M. Wada, H. Tanaka, K. Hidaka and S. Kimura. 2017. Annotated checklist of marine and freshwater fishes in the Hyuga Nada area, southwestern Japan. *Bulletin of the Graduate School of Bioresources, Mie University*, 43: 27–55. (<https://agriknowledge.affrc.go.jp/RN/2010920749.pdf>)
 環境省. 2017. 別紙1①:【魚類】海洋生物レッドリスト (2017): <http://www.env.go.jp/press/files/jp/106403.pdf> (2021年4月15日閲覧)
 本村浩之. 2009. 魚類標本の作製と管理マニュアル. 鹿児島大学総合研究博物館, 鹿児島. 70 pp. (<https://www.museum.kagoshima-u.ac.jp/staff/motomura/FishCollectionManual.pdf>)
 本村浩之. 2020. 日本産魚類全種目録. これまでに記録された日本産魚類全種の現在の標準和名と学名. 鹿児島大学総合研究博物館, 鹿児島. 560 pp. (https://www.museum.kagoshima-u.ac.jp/staff/motomura/2020_05_JAFList.pdf)
 村瀬敦宣・三木涼平・和田正昭・瀬能 宏. 2019. 宮崎島のさかなのまち 門川の魚図鑑. 宮崎大学農学部附属フィールド科学教育研究センター延岡フィールド, 延岡. 208 pp.
 太田 格・工藤利洋・山本以智人. 2008. 主要沿岸性魚類の体長—体重関係式 (八重山海域資源管理型漁業水深調査). 沖縄県水産

Table 1. Counts and measurements, expressed as percentages of standard length, of specimen of *Lethrinus microdon*.

	This study Hyuga-nada, Miyazaki, Japan KAUM-I. 147804	Bandai et al. (2017) Osumi Islands, Kagoshima, Japan KAUM-I. 10940	Wada et al. (2019) Satsuma Peninsula, Kagoshima, Japan KAUM-I. 130983
Standard length (SL; mm)	330.0	366.0	354.4
Counts			
Dorsal-fin spines	10	10	10
Dorsal-fin rays	9	9	9
Anal-fin spines	3	3	3
Anal-fin rays	8	8	8
Pectoral-fin rays	13	13	13
Pelvic-fin spine	1	1	—
Pelvic-fin rays	5	5	—
Lateral-line scales	47	47	48
Scale rows above lateral line	5	5	5
Scale rows below lateral line	16	15	15
Circumpeduncular scales	24	—	26
Gil rakers	5 + 5	5 + 6	5 + 7
Measurements (% SL)			
Body depth	33.9	30.8	32.7
Head length	33.8	37.5	32.4
Snout length (without lips)	16.0	18.1	15.8
Snout length	19.1	22.5	18.0
Cheek height	12.2	12.5	12.1
Eye length	6.1	5.4	5.6
Pectoral-fin length	25.2	22.7	22.7
Pelvic-fin length	21.8	20.9	19.6
Caudal-peduncle length	18.2	17.6	18.7
Dorsal-fin base length	47.3	46.0	48.8
Spinous dorsal-fin base length	27.6	26.7	28.4
Soft dorsal-fin base length	18.2	17.8	18.3
Anal-fin base length	18.7	18.5	18.3
Spinous anal-fin base length	3.5	3.0	3.2
Soft anal-fin base length	14.1	14.5	13.8
Preorbital width	13.8	14.5	12.9

- 海洋センター事業報告書, 69: 184–188. (<https://www.pref.okinawa.jp/fish/kenkyu/jigyohokoku-data/jihouh18/184-188.pdf>)
- 島田和彦. 2013. フエフキダイ科, pp. 960–968, 2014–2017. 中坊徹次 (編) 日本産魚類検索 全種の同定. 第3版. 東海大学出版会, 秦野.
- 和田英敏・伊東正英・本村浩之. 2019. 南さつま市笠沙町から得られた北限記録のオオフエフキ. *Nature of Kagoshima*, 46: 53–56. (http://journal.kagoshima-nature.org/archives/NK_046/046-011.pdf)